

100

昭和47年度 運動方針について

激動の一九七〇年代といわれる。第四に国内に向ってその原動力を明確に、平和国家への誇りを

一九七一年に於けるニクソン大統領の訪日、その後の「シェンゲン・ショック」によって世はどわくどわしくなり、日本では内外の外交が大大小小忙しな状態を呈して居る。片や日本の経済的成長、片や、片や世界の局勢等々によつて世界は多岐化の時代を迎へ、複雑さを増してゐる。それが効動力として、現代を象徴している。特にアメリカ方はこれを教訓にして、深みにはまる一方で大躍進する入りに努めて居る。

一月末にニクソン米大統領の訪中（本年三月）に見舞われる。本年秋の中国訪問で平和共存政策が出たことが、昨秋の中國訪問で相續して平和の曙光が見え出した。大きく向つてゐるものが至るところで、日本と中國が手を取り合ふべき時期である。

然る處、越えては行かなければならぬのである。そして、相率らず東京、都市への口集はる過渡期に入つてゐる。こうして、五月五日日油網種々な問題をばらまながら被逐された、今われわれ戦争で失つた領土、満洲の血流、先づこれに還るべきを深く認識しようとする。われわれはその苦勞正しき争ひをするときに油網の人々の苦難の歴史を教訓しなければならない。市民一体となつて復興、更生に協力するべきである。更に南方面は、日本の固有の領土である歴史を明確に述べ、派遣遠征事実を照らし合わせ派遣請求根拠を繰り述べて行かなければならぬ。

このために、日本は外に対して、その歴史的教訓をばらまき、その訴を示さなければならぬ。国際舞台に登場した我々が、世界にある平和運動との柱と主張するのをその第一にすべきである。第二に侵略の事柄を不所持を宣言することである。第

五に国内での政策明確にし、高め閣議統一を樹てることである。第五に国内での政策明確にし、高め閣議統一を樹てることである。第五に国内での政策明確にし、高め閣議統一を樹てることである。

中から軍国主義復活、警戒感とされる。發展平和かは大國主義とされる。日本の外交方針が如何なるものかではないかである。貿易問題であれば他國と異なる。この間でも友好的に行はれるべきでない。それ日本人への期待を受ける道である。

力伯の姿、パンローは、平和への勢力として大きな確を成つてゐる。アジアにおいての諸君は援平和外交をして國の利益を援助しつゝ、道は険しくともパンローシアの進退を見るべきである。国内にあつても、平和派の開明を内にもつて勝利を高め、閣議一致を樹て、日本としての誇りを高く、進歩的に、諸君は建設的解決すべき努力を費すなければならない。

青少年をめぐる社会の動きは世
に対する働きかけがいかに大切かが
解る。

る。教育、交通戦争等と解決を
め、戦後幾多の内外交換台引き起された
一国内に於ては、物価、公
争等の影響は益々著しきに至つてい
ある。マヌシノ、公害、交通戰
争等の影響は益々著しきに至つてい
る。社会の多様化に伴ひ、
青少年そのもの多様化傾向を
示していることが否めない。さら
に都市の現象が進み、過密、過
疎は大きな問題となつてくる。
次に、青少年の都市生活は
いちじるしく東京、大阪を始め
とする大都市には二〇〇万人の
占める五七％が集中しており、
地方であっても中小都市も多く
が集中している。都市の近年に
も選挙のさしの育肉の報望の
昨年総務府で発表された「青少

年の進歩意識」の調査のなかで二
つの特徴がある。団体加入者全
体の三五％である。未加入者が
三三七・七％、動員者が四九・
七％、合計で四五八人の約七〇
七％の人続入となり、団体を
知らないという難定される。次
に社会に対する不満足に、四七
％が正しいと思つたと答でない
点を挙げている。これが即ち不
満を率ゐる。早稲ここの青年の報望の

④力伯の思想研究を進めよう。――

「友愛思想」の動向進めである。それは、本会の活動推進のためには、源はなない。故鳩山・鹿野先生が囑された「自由と人生」は人間生命の方向として、友愛革命を示した。友愛をその基に「義」として人間を越えた自然の中行動の原理原則であり、「倫理超倫理」「物質主義からの脱離」そして大衆の運動として「パンヨーロッパ」「戦かち平和」「自由と人生」等を表わしている。本会は「理想と実践」の副題としてこれを学習しよう、そして行動の柱として力での思想を理解し「友愛」を我々のものとする。

④社会参加をするため
われわれの連盟の多くは社会参加として位置づけられて、社会参加は、生活するために動く必要義務として実践するのではなく、自己が進んで自己の形でありながら、自然・肉体的衝動や命感によって社会活動に参加する。参加

自己表現にあるような参加の形もある。そして、これは現実的計を要されるべきである。それに加えて、それに参加加へて仲間といふことをめくつて結成されるときに開いた組織となり、創造的な活動となる。人間不信は自己不信の裏面である。求めるものは自己を問うため探り求めた自己の信賴が「社会参加」は生命を委ねられる。友愛者自らの精神生命であり、社会参加を通じて自らを鍛えることが出来る。

この二点を柱に活動を推しよ

⑤活動の体制を立す
組織はであると同時に権威である。目的に恵まれた組織がある。人間的希望されるのは限らない。友愛思想の下に結束する仲間がこれ絆を強めるために止まるならば社会への影響力はない。自由組織としての長を充分に生かす得る組織としての体制が望まれる。従来から言われている血の通った組織作りを棄てる。その為には本部指導委員組

①北海道友愛山莊を早期に実現一居

[illegible]

主 催 世界青少年交流協會

国名	時期	派遣日数	自己負担金	国名	時期	派遣日数	自己負担金
ドイツ定期	7/1~7/29	28日	9万	特別視察グループ	7/1 [↑] 7/29	28	32
ドイツ青少年指導者	↑	↑	0	イタリヤ	7/5 [↓] 7/29	28	28
ハンガリー			19	アメリカ	7/5~7/29	24	29
ルーマニア			28	カナダ	〃	〃	28
チェコスロバキア			〃	ソ連	8/3~8/24	21	23
ポーランド			〃	イスラエル	8/4~8/29	25	28
イギリス	7/3~7/27	24	〃	ドイツ親善	8/18~9/8	〃	28(20人)
フランス	↓	↓	〃	オーストラリア	48年 3/1~3/26	〃	29
スイス			26	【応募受付】3月中旬より本会国際部で受付 ※リーダー(25才~40才)は10万円の個人負担 ※詳細はそのつど本紙および支部連絡文書で通知			
ベルギー			〃				
デンマーク			28				

取締役社長 森 井 定 勝

大西齒科医院
大西 廉治
住所 131
墨田区墨田五・五・一五
電話 東京〇三(六二)六四二番

ヒルトン・柳沢齒科
齒學博士 柳沢定勝

健 醫
約 診
療

鶴 卷 齒 科 医 院

